

題材名「読書感想文を書こう」

目 標

- ・ 夏休みに読んだ本の中から心に残ったものを選び、感想文を書くことができる。
- ・ 文章作成にあたっての基本的なルールを身につける。

コンピュータを活用する利点

紙面上にかかれた文章を添削すると、非常に読みづらくなる。また、何度も修正することができない。文の加除、順序の入れ替えはほぼ不可能である。しかし、ワープロソフトはそれらが容易にできる。また、パソコンの遠隔操作を利用することで、効率よく個別指導ができる。

授業の流れ

夏休みに読んだ本の紹介をする。

心に残った場面、感動した場面、共感したところ等を整理する。

段落構成を考えながら、ワークシートに下書きをする。

パソコンを使って、文章を書く。できあがった作品をプリントアウトし、作文用紙に視写する。

できあがった作品を紹介し合う。

ICT 活用場面

右の写真は、キューブキッズのワープロソフトを使用して作文をしているところである。

1段落書けた児童から順に添削指導を行った。その際、遠隔操作機能を使って個別に指導した。6年生とはいえども、基本的な作文のルール（段落のはじめは1マス空ける・主語と述語の関係等）が定着していない児童もいた。作文の得意な児童には修正した方が良い部分を赤字にして自分で考えさせたり、苦手な児童には教師が書き直し、その部分の字体を変えたりしながら、各自のレベルに応じた指導を行った。



成果と課題

挿入、削除機能を生かし、添削や校正を丁寧に行うことができた。児童にも分かりやすかったようだ。

キー入力の熟練と、ローマ字の習熟が必要である。また、本校のような環境（少人数・一人1台のパソコン使用）でないと活用が難しいと思われる。

ICT 活用環境等

| | |
|--------|-----------------|
| 使用周辺機器 | パソコン，構内LAN |
| 使用ソフト名 | キューブキッズ，SkyMenu |
| 使用教室 | パソコンルーム |